

# 選定「白紙撤回を」

## 3施設の指定 管理でNPO 宇佐市に要望

宇佐市安心院町の「NPO法人安心院町グリーンツーリズム(GT)研究会」(宮田静一会長)は5日、家族旅行村「安心院」を含む3施設の指定管理候補者(案)の選定結果について、白紙撤回を求める要望書を永修治市長に、議案の否決を求める要望書を徳田哲市議会議長に提出した。

市によると、「家族旅行村エリア施設」(家族旅行村「安心院」、市安心院B&G海洋センター、市安心院長期休暇研究会)の里交流施設)の指定管理者は、2007年から「安心院長期休暇研究会」(宮田静一代表)。15年3月末で同連合会との契約期限が切れる。GT研究会は旅行村の管理センター内にある会議室を借り、事務所にして活動している。

今回は随意選定だったが、今回は公募。応募のあった3法人の中から、選定委員会が「ガリレオレーシング」(同市安心院町・松本早苗社長)を選定した。

市は12月定例議会に関連議案を提案している。

同研究会は「旅行村とGTは相乗効果で業績を伸ばしてきた。8年間の運営実績と現状を無視する選定に不信感を抱いている」と主張している。



要望書を提出する宮田静一会長